

### 來郡さるゝ……

## 巖谷小波先生揮毫會

▽ 本社の主催にて

巖谷小波先生が本郡教育會の招聘に應じ各處に講演の爲め本月下旬來郡さるゝを好機とし本社は平町兒童をして親しく先生のた伽嘶に愉悅を感じしめんとて伽講演會を開催する費用に當てる爲め風雅なる畫に配するに先生一流の俳句を以つてせる揮毫を乞ふて是れを左記の如く一般に頒布する事になりました、何卒各位に於かれては平町兒童娛樂の爲めに貢獻せんとする本社の微衷を諒せらるゝと同時に既に定評ある先生の芳墨を永遠に傳へんが爲め此舉を賛せられて陸續に御申込みの程を願ひ上げます。

- 半切畫賛 十圓
  - 同句のみ 五圓
  - 絹畫賛 十五圓
  - 同句のみ 七圓五錢
- 色紙、短冊、雅帳、扇面等は右の半額  
注意——豫定數に達すれば  
直ちに締切ります

申込所 常磐毎日新聞社  
平町長橋町卅五番地

工處方 染料業 藥品劑  
渡邊藥局  
平町三丁目 渡邊政五郎 (郵便局向)  
轉居お知らせ  
左記に居を構へましたからおついでの際等にお立寄り願へれば幸いです  
平町長橋町二番地 荷香 高木 喬 (電話呼出五三二番)



發行所 常磐毎日新聞社  
福島縣石城郡平町長橋町卅五番地

定一部金貳錢 廣五錢十二行 印刷所 福島縣石城郡平町長橋町卅五番地

品を安く賣るの……  
大谷時計店 洋品部  
弊店の主義であります  
平町三丁目 電話九一

電話開通披露  
電話 貳六七番  
平町白銀町十四(停車場前通り)  
電機諸機械商 田邊商店

酒清 釀造元 戸城郡平窪村  
鶴仙 松吉屋本店  
電話二四一番

東亞キネマ獨特 新派大喜劇  
結婚すべからず  
平劇場改修 電話五五五  
日本館

### 金色夜叉のモデル 巖谷小波

當時此家には僕と同年の子息の他に其妹が二人あつた、そしてその末の妹はまだ其頃九歳であつたが己に其入門の當時から僕の眼はその嬢に少からず惹きつけられて居たのである。其後僕は再び親の家に歸り、更に又その翌年から他の塾に入るこになつたが其家には相變らず出入して其家庭と親しんで居た。中にも此嬢とは最も親しく交際して居た。此方も成人すれば先方も年頃になつて来る。そして種々話し合つて見るのに趣味も一致すれば意氣も投合する様に思はれてならない。それはばかりか、僕がかうして其嬢と親しくするのを夙く死んだ主人公は元より後に残された奥さんも別に悪くは思はないらしく見えた。それ位だから無論寫眞の交換もすれば手紙の往復もして居たがそれも無邪氣な交際で戀だの愛だのと云ふさうした閃きは少しも無かつた。有體に自狀すれば僕は其人を愛して居たに相違無い然しその愛の程度を、敢て其人に示さうとしなかつたその癖他の友人に對しては屢々告白して居たのに、随つて僕の處女作として其頃書いて居た小説類の中にも又しても此嬢をモデルにして居た事も、今更めて自狀する。其中に僕は京都の日出新聞へ赴任したが二年経つて歸つて來るとやがて結婚問題が起つた。そして放任主義の父は僕に許すに僕の氣に入つた者を迎へる事を以てした。かうなつて來れば僕も第一の候補者として尤もよくその氣心を知つた人をまづ挙げねばならぬ。そして大膽にも自ら進んで其兄なる人に申込む事となつた。(つづく)

家賃  
△柳宅向 七圓  
△仲野向 十圓  
△湯屋向 四圓  
△商店向 十二圓  
△白銀町 十圓  
△住宅向 十圓  
平町白銀町 加藤營業所 電話三三番  
五丁目 地所付賣家 舊城跡、本丸、二ノ丸

御用意は？  
毎朝霜が眞白に降る様になり誠に寒くなりました  
お寒さの御用意として  
先づ暖で丈夫なラシヤ毛織類が一番です……  
なかや洋服店  
平町二丁目 (電話二〇三番)

米松 (セメント) グリツ  
其他各種物  
建物請負一般木材業  
磐城建物株式會社  
平町五丁目 (電話五一八番)

### 氣候不順の爲めか 感冒に悩む人々が 非常に増して行く

#### 市原醫師の談

今冬期は稀に見る氣候不順の爲めに種々の病氣が流行するが殊に感冒に悩む人々が非常に多いに就き市原警城病院長は語る「現在流行して居る風邪は流感ではな

### 町村長會の 意義ある 諮問

#### 終つて新年會

石城郡に於ける町村長會は明十四日午前十時より郡會議室に於て開催の筈で當日は郡産業組合設立に關する諮問ある由だが右は舊臘郡内産業組合長に於ても満場一致の同意あるもので當然異議なき通過を見るものゝ

### 優漁旗授與

#### 一等は成田丸

来る廿六日午後一時より小名濱水産試験場内にて縣下鯉漁船優漁旗授與式を舉行する筈であるが一等賞は二萬四千圓の魚獲高を示した江名濱信用組合の成田丸に授與されるらしいと

### 仕組んで宣傳

#### 平消防組主催

平消防組にては火防思想を一般に普及する宣傳の一方法として十七八の兩日、日本館にて火防活動寫真大會

### 水産會總會 今日郡衙にて

石城郡水産會總會は十三日午後一時より郡會議事堂にて開會、出席者五十餘名にて提出議案は左の如くである

大正十四年度石城郡水産會歳入出豫算、同分賦収入方法、大正十三年度同歳入追加豫算、費目流用及び積立金に關する件、大正十二年度同歳入出決算

### 常磐片々

平郡線で列車を急停車せしめた年寄り「何故鐵道を歩くと吐られて「雪解け道が難澁な爲め……」と詫びる

鐵道を歩むも悪いが歩けない道を歩かじめようとする方にも無理がある

道路政策の肝要事茲にあり

全く今日此頃の泥濘の道を歩むに際しては老人ならぬ若者迄羽根なきを嘆せしむるに餘りあり

伊坂町長上京 伊坂平町長は義務教育費國庫負擔請願運動の爲め來り十五六日頃上京する筈

### 今日の小名濱灣頭は 避難船を以て埋る

#### 其數廿四隻に及ぶ

#### 米塩を積んで夫々出帆

昨夜にかけての非常な強風は各戸は火の用心に生きた心持もない程であつたが今日の小名濱灣頭築港内は昨日來の避難船を以て埋まり其數廿四隻に及び何れも同地にて飲料水や米鹽等の供給を受け晝頃より夫々出帆したと

### 行衛不明の 嘘つき小僧

#### 父親の願ひ書

石城郡湯本町三國齋藤常次郎の粹義正は東京府北千住増田爲吉方へ行くべく廿九日出發し途中泉驛に下車して行衛不明となつたが本人は嘘つきで皆馬鹿にされるから然るべく願ひしたいとて實父から平署に搜索の依頼狀を寄せた



家庭欄

### 火災時の避難法

火災の際若し逃げ後れて猛火に包まれ、煙にまかれたときは、立つて歩くのは不可能であるばかりでなく危

### た寺の庫裡で 賭博を開帳

石城郡飯野村中山鶴沼西之助(五)外八名は舊臘中同村光林寺の庫裡にて丁半賭博を開帳せる事發覺昨夜一同平署に引致さる

### 乳房で殺す

#### 母親の不注意

石城郡内郷村宇高坂警城炭礦長屋居住坑夫山形縣東村山郡天童町生れ工藤リダエは長女カツ(一)と十一日午前一時頃添養中乳房にて窒息死させしめ平署が取調中

### 急停車を行ふ

#### 危ふかつた

十一日午後四時六分下り四一〇號列車が警越東線赤井小川郷間進行中線路を横切らんとした老婆があつたので急停車を行つたまた同日午後三時五十分下り四五七號列車が舞木、郡山間進行中線路の上に數名の子供があそんでゐたのを發見急停車を行つた爲め双方とも無事なるを得たがこれがために各列車とも三分間づゝ遅延した

火防組合役員 平町搔毬小路火防組合にては役員改選の結果左の如く決定したと (組合長)保坂萬八郎(副組合長)助川彌(世話係)鷲谷三郎、吉田政雄、堀金五郎、根本長一、草野一郎、篠原忠次、馬目菊次郎、青木次男、村上清

式のカサついたものゝ多かつた米國でも古典的の曲目を盛んに吹き込んでゐる、ベートフエンやチャイコフスキーの作曲は昨冬以來専門家にもはやされてゐるがワグナーのレコードは立派なものだが餘りに難かし過ぎて受けなれないと云ふ、聴く耳がまだ幼稚な仲間にはバンド式の行進曲が相變らず受けてゐる。 (俗曲では安來節の流行から枯れすすき籠の鳥から現在ではスト、ンが大流行でこの俗曲レコードが上流家庭へも素晴らしい勢ひで入りこんでゐる、レコードを聴くには疊の上にするわ

る日本間では蓄音機の高さを一尺位、西洋間には二尺五寸位の高さで聴くのが理想的である (常盤屋時計店主談)

○石油の臭味 石油が手について臭がぬけなくて困ります時には番茶を一掴みいぶして其煙に手をかざすのが一番よろしいです

○新川町一四 佐藤權藏氏三男重春(八)町七〇 志藤隆山氏其女重美

平町 人事

耳の兔

洋服商高橋千代吉 君は滯米三十年十

二人の子福者で皆丈夫に育つて居り北海道に居る實兄も同じく二人の子福者だつたのが二人だけ自分たちも十人兄弟だとは珍らしい